

令和元年度

第1回 羽黒地域振興懇談会

会 議 録 (概要)

期 日 : 令和元年 11 月 29 日 (金)

場 所 : 羽黒コミュニティセンター 会議室

令和元年度 第1回 羽黒地域振興懇談会会議録（概要）

○日 時 令和元年11月29日（金）午前10時00分～午後0時10分

○場 所 羽黒コミュニティセンター 会議室

○出席委員 11名

百瀬清昭委員、阿部良一委員、山本興治委員、榎本トヨ委員、榎本久紀委員、堀誠委員
小南孝子委員、星野博委員、小林馨委員、長谷川結委員、増坂加代委員

○欠席委員 4名

田村昭委員、加藤省二委員、齋藤健委員、鈴木伸明委員

○市側出席職員

<羽黒庁舎> 支所長 佐藤潤到

総務企画課長 伊藤義明、市民福祉課長 佐藤美香、産業建設課長 佐藤守
総務企画課長補佐 観世安司、総務企画専門員 土岐美代

<本 所> 地域振興課地域振興専門員 飯野剛

○次 第

《委嘱状交付》

1. 開 会

2. あいさつ 羽黒庁舎支所長 佐藤潤到

3. 会長・副会長の選出

4. 懇 談

(1) 地域振興懇談会の概要と今後の進め方について

(2) 羽黒地域の振興について

・羽黒地域振興計画

・まちづくり未来事業計画

(3) その他

5. その他

6. 閉 会

【会議の概要及び発言趣旨】

《委嘱状交付》 (羽黒庁舎支所長)

- 1 開 会 (総務企画課長)
- 2 あいさつ (羽黒庁舎支所長 佐藤潤到)

《懇談会委員・事務局自己紹介及び欠席委員の紹介》

3 会長・副会長の選出

会 長 百瀬清昭委員
副会長 阿部良一委員

(会長あいさつ)

ただいま会長にご指名をいただきました羽黒体育協会会長の百瀬です。実は石段マラソン大会の疲れが今頃出ていました。膝などに痛みがありますが、体調を整え来年もまた石段マラソン大会にチャレンジしたいと思っています。浅学菲才の私が会長などやれるのかと自問自答していますが、ひとつ宜しくお願いします。

先程、支所長からもお話しがりましたが、台風 19 号の被害は大変、甚大なものでした。しかし、幸いにも庄内では大きな災害はありませんでした。出羽三山の神々の御加護があるからだと言っている方もいましたが、私もそう思っています。

11 月 26 日に開催された市の防災会議に私も参加させていただきました。東大の片田先生が講師でしたが、防災の一番のポイントはすぐに高い所、または安全な場所に逃げること。それから他人は誰も助けてくれない。行政も政治家も誰も助けられないから自分の身は自分で守れということが結論でした。やはり地域力イコール防災力という感じがします。また、先週は、区長会主催で地域ビジョンに係る研修会を、講師に旧立川町阿蘇裕矢先生をお招きし開催しました。これから地域が維持、発展するためには行政と住民が協働して取り組みをすると。そして、地域ビジョンに関わっていくことにより、住民が誇りを持つことができるのだと。そのような事を言っていました。例えば徳島県の南山町についてですが、創造的過疎という言葉があるのですが、過疎はやむを得ないと。ただし、創造性のある活力ある地域を創っていくと、そのような理念があるそうです。私もマスコミで見たことがありますが、素晴らしい地域づくりの事例だと思っています。

先程、あいさつでもいただきましたが、楽しく前向きに忌憚のない意見をどんどん出していただき、子どもから高齢者まで住みやすい地域づくりのためにご尽力いただきたいと思いますので宜しくお願いします。

(副会長あいさつ)

副会長ということで会長さんがおりますので出番はないと、ただ永く委員をしているので順番なのかなと思っています。ここ近年、様々大きな動きもありました。令和元年ということも含め

てかもしれませんが、そういったところと大きな形と加わりながらいければいいのではと漠然とは思っていますので、そのようことも含めて皆さまと話し合いができれば幸いですので宜しくお願いします。

4 懇 談 (議長 会長)

(1) 地域振興懇談会の概要と今後の進め方について

— 事務局から説明 総務企画課長 —

会 長

ただいまの事務局からの説明について委員の皆さまからご質問・ご意見等ありませんでしょうか。

(質疑なし)

(2) 羽黒地域の振興について

羽黒地域振興計画について	説明	総務企画課長補佐
まちづくり未来事業の概要について	説明	総務企画課長
まちづくり未来事業の羽黒地域の事業内容について	説明	産業建設課長

会 長

皆さまからご意見をいただく前に、ただいまの事務局からの説明についてご質問等ありませんでしょうか。

(質疑なし)

会 長

それでは、皆さまから羽黒の地域振興についてお立場などにこだわらず、どのようなことでも結構ですのでご意見をいただければと思います。

委員 1

羽黒地域振興計画の基本方針「活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進」の説明の中で防災の話がありましたが、去年、ヘリコプターも出る大規模な避難訓練が羽黒地域で実施されました。私には障害を持っている子どもがいますが、初めてその子を連れて行きました。

東日本大震災は、大きな被害があったこともありテレビで頻りに報道されていましたが、どこか他人ごとだった気がします。しかし去年、夏に凄く雨が降り、黒瀬川の方が氾濫しますということで避難勧告が出ました。その時、子どもと一緒に居たのですが、豚が流されたという数年前のニュースを突然思い出し、もしかしたら私だけ豚のように流されてしまうこともあるのではないかとふと思ったのでした。この子が生まれてから 10 年間ずっと一緒に居たのですが、この子は

私と一緒に居れば大丈夫。何があっても私が一緒に歩けば大丈夫と思っていたのですが、ふと豚のように私だけが流されて子どもが一人残った時にこの子は一体どうなるのかと、その時初めて思いました。そのようなこともあり、去年の秋に実施された大規模な避難訓練には障害児だからこそ、その場所を見ておく必要があると思い手をつないで参加しました。

養護学校でも普通の学校と同じように避難訓練をしてくれますし、大震災後には、避難グッズが学校に置いてあります。「どこで何があってもこの子たちを守りますから」と学校では言ってくれます。しかし、家に居る時はどうなるのかと思って。ですから、去年の避難訓練は彼にとっても私にとっても大変良かったと思っています。一度、その場面を見て、そこに逃げたわけですが、その経験があることで、もしかしたら私が居なくても一人でそこまで歩いて行けるかもしれません。私の子どもはダウン症なので順応性があります。ただ障害によっては自閉症だったりすると場所が変わるだけでキーっとなってしまう、そこに避難する場所があるのに実際、避難できるか分からないという場合もあります。やはり、去年の大規模な避難訓練はとても助かりました。一度経験しておくということはとても大事だと思いました。

会 長

防災については、地域の最重要課題になっています。大変貴重なご意見をいただきました。ただいまの意見について総務企画課長からお願いします。

総務企画課長

ただいまの防災訓練の関係で若干説明をさせていただきます。羽黒地域全体の防災訓練は平成27年から、羽黒地域4地区で毎年順番を決めて実施しています。昨年度は泉地区、今年度は第四地区で秋に実施しています。昨年度は鶴岡市全体の防災訓練も羽黒にあたっていたということで、羽黒地域だけではなく、鶴岡市全体の防災訓練ということでもかなり大規模な訓練となりました。

毎年持ち回りで各地区を主にしての羽黒地区全体の防災訓練は今後も実施する方向でいますし、鶴岡市全体の防災訓練もそれぞれ持ち回りで実施しています。そういった大規模な訓練にも誰もが参加できるはずですので、是非参加していただければと思います。

会 長

防災に関して、ご意見のある委員の方いらっしゃれば宜しくをお願いします。

委員 2

私の集落では毎年安否確認というところまで実施していますが、その中で毎年課題となっているのが、一体この家に誰が住んでいて、どのような状態の人がいるのだろうか。小さな村ですが実態が分からないことが多い。家族内に異動があった場合は教えて欲しいと話しているのですが、面倒なのか知られたくないのか、なかなか情報が入ってきません。それはそれぞれの集落や地域の問題だとは思いますが、私の集落では課題になっているということで、話題提供といいますか状況を報告させていただきました。

会 長

非常に個人情報に絡んだ問題です。住民台帳を自主防災会で持っているかどうかなのです。私の集落は全部整備しました。様々な異動があるので、常に最新バージョンにしておかないと自主防災会長が安否確認できないのです。民生委員は持っているはずですが、それは個人情報なので出せないということですので、私の集落は自主防災会独自で台帳整備を実施したところです。是非、各地域でも実施していただければと思います。

委員 3

私の集落の自主防災会は、従来は区長が自主防災会の会長を兼ねていましたが、現在は防災会長を担う人をお願いし、委員も含めて8名で組織を作っています。要支援者については、昼と夜とでは違ってきますが、誰がその要支援者を担当するかを決めています。6月の地震の際も、あれは夜でしたが全戸を回り安否確認をしたということです。

また、防災グッズが不足しているということもありまして、羽黒庁舎と相談をしながら補助申請をしている状況だと聞いています。要支援者を乗せて動かせるものとか、ヘルメット等そのようなものを整備したいということをやっているようです。個人情報の問題もあったようですが、その辺は個人、家族と相談しながら了解を得て名簿整備をしたという状況です。

委員 4

民生委員の中には、それぞれ3つも4つも受け持ちのある委員もいるわけで、なかなか実態把握が困難だという中で、毎年4月1日現在で一人暮らし台帳、高齢者台帳の作成をしています。区長から情報提供を求められる場合もありますが、秘守義務がありますので提供はしません。

どこの集落でも集落費を集めていると思いますが、私の集落は準要保護の子どもがいる世帯は半額になるとのことで、その情報を知りたいと聞かれることもあります。しかし、それは本人から区長に申出すればいいと思いますので、私はもし貴方達が良ければ区長にお話しをしてくださいとそこご家庭に話をしています。

委員 5

羽黒地域振興計画の9ページに地域コミュニティとありますが、最初に防災の関係ですが、データにもありますように少子高齢化は続いていきます。そうすると日中、高齢者が留守番をしているということになります。高齢者は一人一人の力は弱いのですが、老人クラブや婦人会等、組織となると力が強くなります。

老人クラブは、まず健康寿命を延ばしましょう。そして様々な活動の中で地域に貢献しましょう。今までの経験を活かして貢献しましょう。ということが目的です。健康な高齢者をつくるためにも老人クラブを自治振興会に位置づけをしていただき、そして組織化し、老人クラブの育成に資してもらえればいいと思います。

それから羽黒第一小学校が廃校となり、使い方によっては交流人口を増やす拠点となると思います。現在、手向地区自治振興会で協議をしていますが、来年度の地域振興計画を作るとすれば、廃校問題についても、どのような活動をしているかということテーマに入れてもらい、予算付けしていただければ大変ありがたいと思っていました。といいますのは、この間、寒河江の田代地区に廃校利用の視察に行きました。国の補助を受け一億円位かけて宿泊施設に整備したそうで

す。千葉の早稲田大学の合宿を受入れて、そこに泊まりそして交流しているとのことでした。手向地区だと宿坊があるので、宿泊施設についてはいささか問題がありますが、ただ自炊して合宿するというような方向ならば、交流人口を増やす拠点ともなりえます。しかし、交流人口を増やしても例えば富士山の周辺ですとごみを落としたりなどと地域に負担がかかるという悪い事例もあります。交流人口を増やすということは当然、地元で消費していただかないと効果のない話となりますので、交通手段とか飲食店とか広域的な話にはなるとは思いますが、お金を落とせるシステムを考えて欲しい。そうすれば、人が多く訪れて良かったと思うことができるのではないのでしょうか。

会 長

非常に重要な提案でした。防災に絡んで老人クラブの活性化とその情報網を上手く活用できないかということ。廃校の利活用については、これをきちんと位置付けし予算化できないかと、そして交流人口の増加を地元消費に繋げていくことはできないかということでした。この件について、事務局から分かる範囲でコメントをお願いします。

総務企画課長

それでは小学校の廃校の関係で若干説明をさせていただきます。現在第一小学校の跡地については、管理が教育委員会となります。そして、その跡地利用についても、第一に地元で活用の要望があるかないかということで現在、地元で活用の可能性について色々と試験的に使いながら検討しているということで認識をしています。それが実現可能になればその方向でまた進んでいくのではと思っています。

会 長

自治振興会の中で跡地利用について検討委員会のようなものはあるのですか。

委員 5

現在、やっています。

会 長

旧四小も同じように検討委員会を開催し、現在、活動センターになっています。では今後、議論が深まる可能性もかなり大きいですね。

総務企画課長

春祭りなどといった事業で利用しながら、一小跡地をどういった使い方ができるかということで検討しているようです。

支所長

ゴールデンウィークに開催した春祭りでは、旧一小の中で様々な催し物をして、たくさんのお客様がいらしたということで素晴らしいことだと思えました。行政の方でも手伝いをしながら手

向の人達が様々なイベントを組み、クラフト教室をやったりなど、どこよりも凄いいイベントをやっているなと思いました。是非、来年以降も広げていただければありがたいと思います。

また、先程宿泊などの話も様々ありましたが、それは先ず、楽しいイベント等で利用しながら地域で充分検討していただければと思います。

あともう一つ、今年のゴールデンウィークですが出羽三山、五重塔の御開帳 2 年目で多くのお客さまが来たわけですが、その時、旧一小の駐車場に臨時駐車場を設けたのですが、そこも満車になるくらいでした。その駐車場から手向の街中を観光客が列をなして歩いていく光景が見られたということがありました。そのような使い方もあるのかなと私の方では思っています。

また、交流人口が多いとごみ等といった様々な害などとの話がありますが、その時は手向地域の中が観光客で溢れたということですが、普通であれば渋滞となり苦情が来たりするわけですが、手向地域から行政にはそのような苦情等はありませんでした。やはり昔から手向地域は観光客をそのように受け入れて生きてきた町なのだなど改めて思い、それが今でも根付いていると、お客さまが来て良かったということが、一番大きかったのかなと思いましたので、今後も手向の人達からは知恵を出していただき、そうしたことをやっていただければと思っています。

会 長

委員 6、関連して何かコメントをお願いします。

委員 6

できれば一小跡地にバイパスから繋がる道路が欲しいということが夢だったのです。そうすれば中に大きな車が入ってくるわけで、尚更一小跡地が使いやすくなるのにと感じはします。

この間の観光期成同盟会の中でも話がありましたが、Wi-Fi についてです。出羽三山には結構外国人の方がいらっしゃるのですが、その中でも中国人は来ません。彼らというのは日本の歴史や伝統とか信仰とかそういったものに対しては興味がないのです。彼らは華美なものとか華美な建物とか綺麗な場所、景色だったりとかそのようなものを求めてくるのが中国人なのです。圧倒的に出羽三山に多いのは欧米豪なのです。中でも頭のいい外国人が多く来るのです。例えば自分で石段を体感して登ってみたり、山を登ってみたりとか色んなことを自分でやってみて、その背景にある伝統とか歴史とかがどういったものなのか、山伏とは何かなどと、だんだんその魅力に気付いてくるのです。そして、それを積極的に自分も SNS 等で流してみようとかという人が多いのです。その現場現場で発信したいのです。そうすることにより、また別の方がいらしたりだとか、リピーターだったりとかそのような流れができてくると思うのです。

また、中国人が来ないというのはやはり交通の便が悪いというのは一番でしょうが、中国人というのは利便性を求めて来ます。しかし欧米豪人はいわゆる日本の不便さを求めて来る。ですから、外国人が来るからベッドを用意しなければならないとか、そのような宿坊もありますが、私はそれは逆だと思うのです。そうではなくて日本そのものを感じ取ってもらいたい。外国人はそれに感動するわけです。それを発信していただくためにも、Wi-Fi を早急に整備していただきたいと思います。

委員 3

私の家内の実家も手向で宿坊をしており、この間も2日ほど行ったのですがその時に外国人の若いカップルが手向の街中を歩いているのです。一日目も一組ですがあいさつをしながら歩いて行きましたし、二日目もやはり若い欧米のカップルがいて、改めて凄いなと思いました。

委員 7

私は、先程話に出ました出羽三山門前町プロジェクトというものに関わっておりまして、この場を借りて少し紹介をさせていただきます。2017年に出羽三山神社の吉住禰宜からの声掛けで出羽三山が好きで、そこで少し仕事もしているというような、民間事業者ですとか、羽黒町の観光協会の人達が集まった有志の会になります。目的としては神社だけではなく、手向を含めて山上山下が持続的に成り立っていくために、どのような仕組みを作っていくか、どのようにしていくか、その一つの事業としてインバウンドの事業もあります。

このプロジェクトで門前町祭りの開催等色々やってきたのですが、今年の6月に東北農政局の方から助成金をいただき、2ヶ年計画で実施することになりました。そこで、これを機にきちんとこの事業を回して、行く行くは手向に地域企業体を作っていこうということを今考えています。その地域企業体で山上山下がきちんと持続的に回るような、そういった仕組みを作って回していけるマネージメント的なものを作れないかということで、夏頃から勉強会などを開催しやっている所です。

また、交流人口が増えたから結構ゴミが増えるとか、やはりそういうことは世界各地であるらしく、そうならないためにもどうしていけばいいのかという所も話になっています。

現在、出羽三山神社は交通の便が悪いので誰もが気軽に来れる場所ではありません。本当に来たいという方がネットを駆使して来られているという話です。出羽三山の価値をきちんと分かっている、そしてそれを求めている方たちを世界から呼び込み、本当にリピーターになってもらうということを今検討中です。とは言っても外国人や東京から来た人の話しを伺うと、やはり交通の便が悪いというのはリスクが高いという話をされています。その点でこちらの定期バスのない観光施設への誘客とのことでツアーバスを考えているとのことですが、ここは本当に期待したいところです。

やはり出羽三山は、世界にむけて発信できる素晴らしいものだと思うので、出羽三山のファンを世界中に増やして、出羽三山のファンが出羽三山のみならず、羽黒地区の手向に行ったり、月山牧場やハーモニーパークに行ったりですとか、そういった感じで地域全体のファンが増えていくという形になるのが理想なのかなと私は思っています。

委員 8

観光のまちということでお客さまが多数来ているとのことですが、やはり熊などは本当に問題であり危険だということがあります。現在、猟友会等あるわけですが、若い世代に引き継ぎがありません。私の集落では補助を出して免許を取らせて罾まではやっていますが、銃となるとハードルが高いというのがあります。それをなんとか我々は勧めてはいるのですが、なかなか前に進みません。要はその保管する場所であったり、警察の聞き込みがあったり、人から全部見られてしまうというのがあり二の足を踏むという人が多いとのことでした。今後、熊がいなくなるわけでもありませんし、猪も益々増えてくると想定されている中で、農作物の被害も当然あるで

しょうし、観光のまちでもありますので、もっと前の段階で食い止めないとだんだん下りてくるという危険性があるので、是非みんなで考える問題にして欲しいと私は思っています。

会 長

猪、熊は緊急な課題だと思います。その点について産業建設課長いかがですか。

産業建設課長

確かに地域の方々からも何とかしなければならぬという話で、猟友会でも一生懸命罠を仕掛けたりしてくれていますが、なかなか捕まりません。今年は熊が2頭位、猪も2頭位と実績はあるのですが、それでも落ち着いていないというのが事実です。

手向地区の皆さまについては特に猪が増えたという話の中で、罠を仕掛けるのには免許が必要ですので、免許試験を追加でさせてもらえないかとの問い合わせがあり、掛け合ったのですが今年は無理だということで、来年、その時期になりましたら皆さまに案内をして多くの方から受けていただくよう声掛けをさせていただきますというような働きはしています。また、手向の方々からはどのような対策をしたらいいか先進事例を聞きたいので勉強会を何とか開催できないかとの話があり、その実現に向けて手向会場で鶴岡市の方で集まってやればということに向かうつもりでいますので宜しくお願いしたいと思います。

銃や罠の資格を取ることにしましては、市の方でも補助金制度を持ちながら積極的に何とかしなければという動きはありますが、逆に地域の方々からもそのような制度があるということもPRしていただきながら、自分達の場合は自分達で守らなければならないというところでの声掛けをしていただきたいです。ただ罠だけではやはり防除はできなくて関東などで被害を受けている所では電気柵を作ったりなど、それでも、もっと上を超えていくので大変なんだという実情があるとのことでした。なんとか罠を掛けれる人を増やしく方向でいけるよう声掛けをしていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

委員 8

今、私の集落の若い人達から免許を取っていただいています。ただそれには更新があり、更新には手数料がかかるらしいのです。とりあえず、集落で取れと言った限り集落で何とかしていますが、更新手数料についても、全額でなくても少額でも補助をお願いできないでしょうか。

産業建設課長

上の方につないで実現できるように頑張りたいと思います。

会 長

猟友会の人材育成。これはしないとね。では委員 9 お願いします。

委員 9

第四地区で心の応援団のイベントがありました。その時、そんなに人は来ないかなと思っていたのですが70人位集まってくれたそうです。大抵、この近くの人達が車で来て、車で来る人が誰

かを乗せて来るものだと思っていたが、たまたま今日聞いた話では後田の方達がバスで来た。帰りはどうするのかと思い聞いてみたらタクシーを予約して来たということでした。そのような、にこにこバスの利用もできるのだなと思いました。

婦人会そのものとしては今、まちの婦人会というのは70人位しかなくて、活動もそんなにはないのですが、各地域の活動センターでは、みんなが関わって役員とかしているので色んなことができます。例えば松ヶ岡で何かする、手向で何かする、うちの方でも何かするという時には婦人会だけではなくて、その地区の集落のお母さん達を巻き込んで、色んなことを手伝わせて欲しいと思うのです。どこにでもお母さん方がいるわけですから、そういう人達を巻き込んで行事に手伝わせて欲しいと思うのです。

今年、防災訓練が第四地区であったのですが、その時に役員だけでなく、調理器具の使い方とかご飯の炊き方とか教えたいからと、各集落から二人か三人位来てもらいました。その人達が集落に帰り、また何かしてもらえればそれはそれでいいのかなと思っていました。なかなか各地区単位の防災などは、役員しか集まらないので各集落に帰ってその役員が何かをしてくればいいのですが、そのようなことはなかなかないものです。自分が覚えたことを集落に帰って教えていただきたいと思います。今は伝えるということが必要だと思うのです。災害の時でない隣のものも分からないような気がするのです。結局、プライバシーの侵害で終わってしまうのです。

地震の時は区長が集落の全部を回ってくれました。私の家の隣は一人暮らしですが本家と分家なものですから、大丈夫か聞かれてメールをしたら大丈夫とのことでした。メールしかできない人にはメールをして大丈夫か確認をする。そのように安否確認をするということも大事だと思います。若い人達はメールやSNSなどで発信できると思いますが、年寄りには口で言わなければ分からないことも多々あるわけで、地震大丈夫だったか、何かなっていなかったかとか、個人情報ということもあるかも知れませんが協力し合っていないと世の中成り立っていかないのではないでしょうか。

人口は減少しているのに戸数が多くなってきている。ということは新しく来る人がいることもあるかもしれないが、一軒の家から若い人たちが出て、新しく家を建てれば戸数は増えるということになります。三軒屋では空き地を利活用して家を建て、リフォームをして現に二人位来ているのです。上野新田とか今野、東山には来ないのです。そこは何故なのかは思うのです。ビジョンを作る集まりの中で、そのような空き家があるとか空き地があるとか、こういうのがありますがどうですかと発信していく必要があるのではないかとの話がありましたが、そのようなことは本当に大事だと思います。個人的に話をするのと、機械で発信するのと、二本立て三本立て位にしてやっていかないと駄目だと思うのです。これから我々は10年位で、年寄りだからと言われますが、若い人達はこれからの羽黒町を、各地区を背負っていくのですから頑張ってもらいたいなと思っています。期待はしますし、助言もできるだろうし手伝う事もできるだろうと思います。ただ我々がこれから何かをするというのは、無理な話なので若い人たちにこういうのがあるということ発信して参加してもらおう必要があると思います。

会 長

大変貴重な意見でした。三軒屋の区長にあなたのところはおもてなしの心が良いから、空き家

にもちゃんと人が入るのだと。地域で迎え入れる気持ちがあるからだと言いつつ酒を飲みながら話をしました。

委員 6

子供達も全然減らないそうですね。

会 長

今、未就学児が 22 人、小学生が 8 人いますから全部で 30 人です。

委員 6

なぜ、そうなのかお聞きしたいです。

会 長

30 代の若い人達が今揃っているからです。嫁さんも婿さんも来ています。

委員 6

なぜ、嫁さんが来るのですか。

会 長

山が好きなのでしょう。うちの嫁さんは山が好きだからと東京から来ました。

委員 5

やはりきちんとした農業、生業があるからでしょう。

会 長

後継者として担い手をどう育てていくか。色んな人がいますから、そうすると点が面になってくるわけです。なんか面白そうだなと、自分も行ってみようかな、Uターンしてみようかなと。そういうことはあるようだが、この話をすると長くなりますので。では委員 10 からお願いします。

委員 10

残念ながら思いながらもこの基本方針の修験の里の再生というのがどうしても再生だなど、本来であれば拡充、拡大という所に行ってくれば、一番いいわけなのですが、皆さまもご存知のとおり、時代の変換というか昭和の後半から平成にかけてものすごくあったと思います。そのような中で、神社自体のありようも従来ではないというのも皆さまご存知のとおりだと思います。今までは、宿坊もいっぱいになり、それに伴って生業というのが色濃くあったと思うのです。そういう一つの組み立てがあったと思うのですが、残念ながら今神社自体にはそれなりの人は来ていません。単純に減った訳ではなくて中味が変わってきたのだと、先程のインバウンドの話であるとか個人の方であるとか極端に減った訳ではなく明らかにお山に来る人が違って来ています。これを今、神社としては今後どのように受け入れていくか、次に繋げていくか社内的な話として

はものすごく、今近々ではないですが。そういう過程の中で門前町プロジェクトを立ち上げていただいた経緯が実はあります。今まで、どんどんお客さまが来ていた時には、神社内の企画で大勢の方をお迎えできる企画をうっていましたが、そういう我々の頭だけでは到底組み立てられないような状況になってきたのと同時に今のその従来の生業の組織自体、やはり変わってきていますから、そういった意味からすれば正しいその形を組み立てていかないことには仕方ないわけですので。やはり様々な分野の方から集まっていただいて組み立てていただきたいなという意味合いのもとにプロジェクトを立ち上げていただいたという感じがしています。今までのイメージがあつての出羽三山ではなくて、やはり現状というものをきちんと見ていただきながら様々なこの組み立てという、こんなことをいうのは失礼かもしれませんが、絶対人だろうなど。昔は良かったという言葉が出ますけれども、昔は良かったのかもしれませんが。しかし今からでも良くなるきっかけはあるわけですので、神社自体もなるべくそういったものは発信をして行きたいと思えます。

また、松ヶ岡はもっと出てきてもいいのではないかと思っています。松ヶ岡ビジョンですか。それがまた別枠であるので、そちらの方で何か動いているのかとも思いましたが、この前シルクガールズなどの企画もあり、10年も続けてやっているようでしたし、日本遺産と盛り上がってきていますから、そういったものは、羽黒地域の大きな財産だと思いましたが振興計画の中に入っているのもいいのではないかと思っていました。

会 長

ありがとうございます。松ヶ岡をもっとクローズアップして欲しい。もっと大きく、出羽三山と一緒にということですね。

委員 3

お伺いしたいのですが、松ヶ岡の映画村が店じまいをすると聞いていますが、店じまいをしてそれで終わりなのか、セディックが関係してくるのか、松ヶ岡の集落では何か承継するとかがあるのか。あとこの間、地鎮祭がありました。ワイナリーは補助事業なのか。また、月山高原の活性化も出ていますが、現在はジギスカンが提供されていないと思います。そういったことも含めて考えているのか聞きたいです。また、羽黒山俳句大会は今も開催しているものか伺いたい。あと五重塔と羽黒山頂の御開帳が去年と今年あった訳ですが、来年以降何か同じようなイベントのようなものを考えているものでしょうか。あと栃木県には羽黒山という地名の山があるということを知っていますが、これにおを付けておはぐろさんと言ひ、地元では結構親しまれているということを知っています。全国には、はぐろと地名がついてるものが色々あるので、そういったものも一回調べてみるのも面白いのではないかなと思っています。

会 長

委員 2 いかがでしょうか。

委員 2

行政絡みのことが多くあったようですので、始めに行政から話をいただき、その後、私の

分かる範囲で松ヶ岡の話をしていただきたいと思います。

会 長

では、事務局から分かる範囲で結構ですのでお願いします。

総務企画課長

松ヶ岡関係で、この計画にもありますように羽黒庁舎でやっているのはソフトの補助という格好で、実際には政策企画課等が力を入れてシルクタウンプロジェクトや日本遺産に関する事業などをやっているところですし、史跡にもなっていますのでその辺については教育委員会の社会教育が補助事業等で色々やっているところです。その中で五番蚕室に入っていた映画村については12月にそこを閉じるといことで伺ってしまして、そこにつきましても、色々な事業で内部を改装してこれからの松ヶ岡の展示のために整備をするということでは伺ってはおりますが、その後どうするかということは、私は伺っていませんのでそこは不明ですが、まず12月で締めると、そして撤退するという事は聞いています。

ワイナリーにつきましては補助事業かということでしたが、その件について私は分かりませんが市の補助は受けてはいないと思います。何処かの補助を受けているかは分かりませんが、まず民間事業として自前でやっていると認識しています。

会長

産業建設課長いかがですか。

産業建設課長

ワイナリーについては醸造施設というような位置づけの中で確か農林水産関係の国の補助を受ける流れだったという認識でいます。映画村の件については私も12月でという話くらいで、その後どうなるのかという情報は入手していません。

月山高原のレストハウスの関係については、ジンギスカンハウスは以前頑張って運営していただいていたが、なかなか経営的なところも含めて容易でないということで、二年位開かれています。新たな募集ということも考慮しながら検討はしていますが、天候の左右で結構厳しかったということも聞いていますが、その辺、先程のひまわりなどの花の周遊とかをもっと強化しながら、あそこが賑わうことができないかという、トータル的なところで考えて行きたいと思っていますので、もう少し時間をいただければと思います。しかし、その施設についても老朽等を含めて遊具も大分疲れているという所で、そこに新しい魅力づくりをどうもっていくかということも現在検討しているところです。

俳句大会につきましては、神社が主として継続して進めている事業であり今年は夏井先生や猿先生などテレビでも有名な方が来てくれたりと色々な変化を付けながら進めているところです。

栃木に羽黒という地名があるという部分では、確かに羽黒に関わるような地域があるのかとは思っていますので、その辺は勉強するというのも一つの広がりが出てくると思いますので今後勉強をさせていただきたいと思います。

委員 2

映画村の関係は12月1日で閉じると聞いています。あの建物は市の構想で建物自体を見せるような形で今後展示をしたいとのことで、その展示ができるように躯体をもう一度整理をしてから今後考えていくとのことでした。映画村に関しては規模を縮小しながらも二番蚕室に一部展示物を移動して自由に見てもらおうという形に変わるようです。

ワイナリーに関しては補助等の話は私には分かりませんが、今、醸造施設を建てているようです。来年の9月には醸造できるようにしたいと。そして二階部分にはちょっとした飲食コーナーというか、話では月山が真正面に見えて非常に綺麗な場所で食事というか軽食のようなものを出せる施設にしたいということでした。再来年がエルサン創業50周年だそうです。そこでワインで御祝いをしようとの考えでいるようでした。ちなみに松ヶ岡も開墾150年にその年当たるものですから、それに是非一番搾りを出していただけないかと話をしているような状況です。

会 長

時間にもなりましたので、閉めさせていただきます。幅広くご意見をいただき本当にありがとうございました。これで座長を降ろさせていただきます。

5 その他

総務企画課長

ありがとうございました。それでは、その他になりますが事務局としては特段持っていませんが、先程申し上げましたとおり、次回の開催は2月に予定していますので宜しくお願い致します。それでは、委員の皆さまからその他に何かございますか。

委員 9

時間のない所申し訳ございませんがご報告をさせていただきたいと思えます。私、人権擁護委員をさせていただいておりますが、この間、人権書道を各小学校の5、6年生から出させていただきました。鶴岡全校29校中の23校から1016点の作品をいただきました。羽黒からは羽黒小学校から8点、広瀬小学校から11点でした。広瀬小学校の6年生が最優秀賞を、羽黒小学校の5年生が教育長賞を受賞しました。その展示を12月6日から26日まで図書館で展示しますので、皆さま見に来てください。

それから、12月5日に老人福祉センターを会場で特別相談会を開催します。対応は羽黒地域の三名の人権擁護委員と法務局の方です。プライバシーは守りますので、何か相談したいことがありましたらご利用ください。

総務企画課長

ありがとうございました。他に何かございますか。それでは大変お忙しい中、長時間に亘りまして懇談をいただきありがとうございました。皆さまからの貴重なご意見を今後、羽黒地域の振興のために参考にさせていただきたいと思えます。また委員の皆様には、この場に限りず庁舎にお出で頂きまして様々な意見を賜ることができればと思えますので、今後もどうぞ宜しくお願い致します。

6 閉 会

総務企画課長

それではこれを持ちまして令和元年度の羽黒地域振興懇談会を閉会いたします。どうもありがとうございました。